

2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)	職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義概要					
人文学部	1	全学年	心理・人間学 (心理学)	心理学の扉 ◆人の心という漠然とした対象を扱う心理学。一体どのようにして心を科学的に研究するのでしょうか？少しだけ扉を開いて覗いてみます。	准教授	新美 亮輔 (または対応可能な教員)	5月～12月	○	○
	2	全学年	心理・人間学 (哲学)	アニメのキャラクターとジェンダー ◆アニメのキャラクターは私たちの社会に遍在し、ジェンダーに関する議論を引き起こしています。そもそも、キャラクターの身体におけるジェンダーはどのように表現されているのでしょうか。ジェンダーという観点から、私たちとキャラクターとの関係を考えます。	教授	石田 美紀	通年(要相談)	×	○
	3	全学年	社会文化学 (地理学)	地理情報システム(GIS)を駆使したフィールドサイエンス:地理情報科学 ◆身近な自然環境がもたらす脅威と恩恵を理解すると、私たちは何気ない日常生活に豊かさを感じるようになります。近未来に起きうる災害を我が事として捉えるためにも、まずは足もとに広がる地形の生い立ちをみてゆきましょう。	助教	太田 凌嘉	通年(要相談)	○	×
	4	全学年	社会文化学 (文化人類学)	文化人類学入門 ◆カメルーンの狩猟採集民バカにおける森の音や声をテーマに、文化人類学的思考を体験します。	准教授	園田 浩司	通年(要相談)	○	×
	5	全学年	社会文化学 (歴史学)	人文学部の卒業論文から学ぶアメリカの民主主義の歴史 ◆新潟大学人文学部では、卒業論文の作成が学生生活のかなめとなっています。わたしのゼミの学生が書き上げた論文の中から、アメリカの政治、社会、文化の様々なテーマを垣間見て、アメリカの民主主義の歴史を振り返ってみましょう。	准教授	高橋 康浩	通年(要相談)	○	○
	6	全学年	社会文化学 (歴史学)	史料にみる日本の中世 ◆歴史は史料を捋りどころに形作られます。この講義では、史料のなかでも日本中世の古文書をとりあげて、その多様性や動きを紹介しながら、当時の権力や社会について考えてみましょう。	准教授	片桐 昭彦	8月～9月、12月	○	○
	7	全学年	言語文化学 (古代日本語論)	写本で読む古典 ◆スマホで入力する文字、ペンで書く文字、同じ文字/日本語でも何かが違う…。古写本を読解しながら、1000年前に生きた人々の言葉の営みを追体験し、昔と今の日本語についてより深く考えてみたいと思います。	教授	磯貝 淳一	通年	○	○
	8	全学年	言語文化学 (近代日本語論)	文法のミカタ ◆「文法は暗記物」と思い込んでいませんか？本来文法とは、目には見えないけれど確かに存在する言葉の規則を(発見)するものです。先人の発見を追体験しながら、身近すぎて気づかなかった日本語の姿を発見していきましょう。	准教授	三ツ井 正孝	4月～7月:金曜/8月・9月:曜日指定なし/10～12月:金曜(水曜が可能な場合もあり)	○	○
	9	全学年	言語文化学 (中国文学)	教科書では学ばない中国文学 ◆漢文は訓読や歴史的背景が複雑でつまらない…そのようなイメージが変わる世界をご紹介します。※授業で扱っている教科書や教材をあらかじめお知らせください。	准教授	小島 明子	9月	×	○